

2学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年6月17日 第32号
文責:江頭 俊輔

[梅雨が来ました！]

さて、梅雨の時期が訪れています。ジメジメしたこの時期に少し不快感を覚える人もいることでしょう。また、気圧が安定せず、偏頭痛や身体の不調に悩まされる人も少なくないと思います。通学中に靴下や靴が濡れてびしょ濡れになったり、昼休みに外で遊ぶことができなくなったり、部活動も室内練習になったり、と「なんで梅雨はあるんだ！！」「梅雨なんてなくていいのに！」と中学生の江頭少年も感じていました。みなさんも同じように感じているのではないかと思います。さて、**今日は「梅雨のいいところ」を私なりにお伝えしたいと思います！**

[梅雨のいいところ①夏が楽しくなる]

さて、梅雨のいいところと言えば、なんといっても**「夏が楽しみになる」**ところです。次は夏を歌ったケツメイシというグループの「サマーデイズ」という歌の歌詞の一部です。この歌詞の中でも夏を待ちわびる気持ちが「梅雨」にじらされて、でもその分、梅雨の明けたときの感動はひとしおだと描かれています。

梅雨があるからこそ、夏は楽しみになるのです。こう考えるだけで、梅雨に感謝したくなります。

[梅雨のいいところ②自然が育つ]

梅雨の時期にまとまった雨降ることによって、**水不足を防ぐことができたり、自然の成長を促したりすることができます。**福岡でも平成6年（1994年）に大規模な水不足に見舞われました。この年は梅雨の終わりから夏にかけての降水量が非常に少なく、ダムの貯水率が急激に低下したようです。このときは水道の使用にも影響が出るなど、一般生活にもとても影響が出ました。



また、最近話題の稻作にも大きな影響が出ます。梅雨の時期に雨が降ることで、稻は大きく、強く育っていきます。雨の降らない年は米不足に苦難します。梅雨に感謝したくなります。

[梅雨のいいところ③虹が見える（かも）]

最後に私が梅雨のいいところとして、一番に思いつくのが**「虹」が見える（かも）**ということです。虹はめったに見えることがありません。そのため、虹が見ると「ラッキー！」とちょっと嬉しい気持ちになるのは、私だけではないはずです。左は「にじ」という童謡の歌詞です。

（「きっと明日はいい天気」と言い聞かせるように伝えてくる童謡を雨の日は聞きながら出勤しているのはここだけの話です。）

虹が見えるかも？と思うと少し嬉しい気分になりませんか？

さて、梅雨のいいところをお伝えしました。少しずつ梅雨も明けつつありますが、今回の通信を読むと、「梅雨も楽しみたい！」と思ったはずです。少し気持ちに余裕をもって生活を送ってほしいです。

ラララ にじがにじが
空にかかる
きみのきみの気分もはれて
きっと明日はいい天気
きっと明日は良い天気 にじ